

2026年4月6日

都民交響楽団大島演奏会へのご協賛のお願い

大島町商工会会員企業・団体 御中

都民交響楽団
運営委員長 山中 彰人

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私ども都民交響楽団は、70年を超す活動歴をもつ、都内有数のアマチュア・オーケストラでございます。

当楽団では、1959年から1998年までの間、当時の運営主体であった東京文化会館事業課の企画により、大島から小笠原にいたる東京島嶼部での、児童・生徒向け音楽教室や、一般向け演奏会を、延べ34回にわたり開催いたしました。

1999年に、自主運営の楽団になってからしばらくは、このような機会は途絶えておりましたが、私どもでは、生のオーケストラの実演の機会に乏しい島嶼部での、演奏会開催の意義は大きいものと考え、自主活動として2007年に再開。以後これまでに大島、新島、神津島、三宅島、八丈島で計13回の演奏会を行い、大変ご好評をいただいております。

本年は大島にて、9年ぶりとなる当楽団演奏会を予定しており、つきましては甚だ勝手ではございますが、本件企画の社会的意義にかんがみ、この演奏会にご協賛を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

都民交響楽団大島演奏会の企画内容

【本企画は公益社団法人 企業メセナ協議会の認定活動です。】

1. 開催日 2026年6月26日（金）
2. 主催 都民交響楽団
3. 後援 大島町、大島町教育委員会（申請予定）
4. 実施参加者
 - ・指揮者 : 喜古 恵理香 氏
 - ・ソプラノ独唱 : 河向 来実 氏
 - ・当楽団団員約 60 名
5. 会場 大島町立つばき小学校体育館
6. 演奏内容
 - 【音楽教室】町内児童・生徒向けの音楽教室(授業の一環として開催)
 - 【一般向けコンサート】大島町内の一般聴衆向けコンサート
 - ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」 他
7. 企画の趣旨

当楽団は、東京都教育委員会の企画により、都のアマチュア・オーケストラの育成事業の一環として1948年に設立されたもので、その後1999年に東京都の手を離れ、自主運営の組織として今日に至っております。

団員数80～100名程度を擁し、年2回の定期演奏会のほか特別演奏会等を開催、一般のアマチュア楽団ではなかなか演奏の難しいマーラーの大規模な交響曲作品の全曲をプログラムに乗せるなど、充実した演奏活動を展開してまいりました。定期演奏会については、東京都運営の時代から今日まで無料招待方式によっており、首都圏の幅広い音楽ファンに毎回多数ご来場いただき、高い評価を頂戴しております。

また、当楽団は1957年より多摩地区、及び伊豆諸島をはじめとする島嶼部において、都の主催する巡回管弦楽教室に多数出演してまいりました。特に、島嶼部については1959年の大島演奏会を皮切りに、1998年までの間に、小笠原を含め34回訪問し、児童・生徒、ならびに一般島民の方々からも広く親しまれておりました。

しかし、1999年に東京都と当楽団の関係が切れて後はこの企画も中断し、また当楽団以外に島嶼部での演奏を行う管弦楽団も極めてまれであったため、島嶼部においては生のオーケストラの実演に接する機会が渴望されておりました。

当楽団としては、島嶼演奏会の復活が、現地の教育と文化に寄与することのできる、社会的に高い意義を有する事業と考えられるとともに、島嶼部の熱心な聴衆を前に演奏することへの団員の期待も大きいことから、当楽団の自主事業として、2007年に島嶼演奏会を再開しました。以後、台風や新型コロナなどのために中止となった例外の年を除き、原則毎年、島嶼部のいずれかの島を訪れて演奏会を開催しております。

以上

都民交響楽団の概要

1. 楽団の概要

- (1) 創設 1948年6月
- (2) 楽団構成 4管編成（団員数85名(2025年4月現在)）
- (3) 主な活動場所 東京文化会館（東京都台東区）
- (4) 団員の採用 ウェブサイト及び演奏会プログラム等で告知して募集のうえ、年1回のオーディションにより、合格者を採用。さらに入団後も定期的にオーディションを実施して、合格者のみを継続採用している。

2. 楽団の沿革

- 1948年 東京都により設立。披露演奏会開催
- 1949年 第1回定期演奏会開催
- 1957年 多摩地区演奏会開始
- 1959年 島嶼演奏会開始（第1回伊豆大島）（以後1998年まで小笠原を含め34回実施）
- 1961年 東京文化会館開設とともに、同会館事業課に移管
- 1974年 年末「ベートーヴェン第9交響曲」演奏会開始（以後1997年まで毎年）
- 1984年 第1回アマチュア・オーケストラ・フェスティバル参加（以後2005年まで毎年）
- 1999年 東京都の手を離れ、自主運営の組織になる
- 2000年 がんばれ三宅島！チャリティ・コンサート開催（八王子市）
- 2005年 第100回定期演奏会（マーラー：交響曲第8番「千人の交響曲」）
- 2007年 自主事業としての島嶼演奏会復活（伊豆大島）（以後現在まで11回実施）
- 2009年 創立60周年記念演奏会（ベートーヴェン第9交響曲の再演と委嘱作品初演）
- 2013年 東日本大震災で中止した演奏会の演目（マーラー：交響曲第10番）の復活上演
- 2015年 三宅島で「帰島10周年」の記念演奏会を開催
- 2018年 創立70周年シリーズ開催（第126回・第127回定期演奏会、2018年特別演奏会）

3. 定例的な演奏活動

定期演奏会 年2回（来場者無料招待）、特別演奏会 年1回（有料）

島嶼演奏会 年1回

○直近の演奏会…第140回定期演奏会

2026年2月22日(日) 東京文化会館 大ホール

指揮 阿部 未来

曲目 ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲
マーラー：交響曲第5番 嬰ハ短調

本公演の指揮者

指揮者：喜古 恵理香

略歴：

東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻（指揮）及び同大学大学院指揮研究領域に学び、これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。

在学中、オーケストラ・アンサンブル金沢主催の井上道義氏による指揮者講習会にて優秀者に選出され、同講習会のリレーコンサートに出演。2017年からNHK交響楽団よりパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、2年間アシスタントコンダクターを務めた。また2016年から4年間、京都市ジュニアオーケストラの活動に副指揮者として携わる。これまでに東京交響楽団、広島交響楽団、京都市交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、札幌交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団等と共演を重ね、今後も全国各地のオーケストラと共演予定。

オペラの分野では NISSAY OPERA「アイナダマール」の日本初演に携わったことをきっかけに、同「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」「ラ・ボエーム」「カプレーテイ家とモンテッキ家」、藤原歌劇団「蝶々夫人」、二期会「フィデリオ」、新国立劇場「魔笛」「アルマゲドンの夢」、びわ湖ホール「薔薇の騎士」など多数公演において副指揮者を務める他、びわ湖ホール「泣いた赤鬼」ではびわ湖ホール声楽アンサンブルと共演、好評を博した。第10回ブカレスト国際指揮者コンクールセミファイナリスト。2022年、広島で行われた次世代指揮者コンクールにて第3位入賞、同時に聴衆賞、オーケストラ賞受賞。

本公演のソリスト

指揮者：河向 来実かわむかい くるみ

略歴：

東京都出身。

東京藝術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻を卒業、同大学院修士課程音楽研究科オペラ専攻を修了。学部卒業時にアカンサス賞、同声会賞を受賞。

二期会オペラ研修所マスタークラス 66 期に特待生として入所、修了時に優秀賞を受賞。

二期会本公演《タンホイザー》にてアンダースタディを務める。

6 歳よりヴァイオリンをはじめ、東京都立総合芸術高校にヴァイオリンで入学するも、3 年次に声楽へ転向。

学内のオーディションにてパミーナ役に選出され、第 67 回藝大オペラ定期公演《魔笛》同役にて出演。

そのほかにも《ゴジファントウツテ》フィオルディリージ役、《フィガロの結婚》伯爵夫人役などを演じる。

第 6 回《藝大第九》ソプラノソリスト。

二期会ニューウェーブ公演《デイダミア》ネレーア役、大田区アプリコオペラ《こうもり》イーダ役にて出演。

大田区文化振興協会主催による「うたのナイトコンサート」のオーディションにて選抜され、大田区アプリコ大ホールにおいて初のソロリサイタルを開催。

2023. 2024 年度宗次エンジェル基金/公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度奨学生、2024 年度（公財）大田区文化振興協会フレンドシップアーティスト。二期会正会員。

収支計画（2026年3月時点での見込）

《支出の部》

費 目	内 訳	金 額
謝礼金・出演料など	指揮者謝礼	230 千円
	ソリスト謝礼	100 千円
	計	330 千円
会場費・設営費など	練習会場費	162 千円
	計	162 千円
旅費・滞在費・楽器 運搬費など	楽器類運搬費（23区内・海上・島内）	494 千円
	団員・指揮者・ソリストの交通費	776 千円
	団員・指揮者・ソリストの食事代	181 千円
	団員・指揮者・ソリストの宿泊代	825 千円
	計	2,276 千円
広報宣伝費など	プログラム・ちらし印刷代	75 千円
	計	75 千円
その他	通信費等	25 千円
	現地調査費	100 千円
	団体保険	33 千円
	その他	40 千円
	計	198 千円

①支出合計 = 3,041 千円

《収入の部》

費 目	内 訳	金 額
助成金	芸術文化振興基金助成	500 千円
	民間企業系文化財団助成	400 千円
	計	900 千円
自己資金	団員参加者負担金：25000円×60名	1,625 千円
	非参加団員負担金：5000円×25名	120 千円
	計	1,745 千円

②収入合計 = 2,645 千円

協賛目標額 = 396千円 (①支出合計 - ②収入合計)

都民交響楽団大島演奏会へのご協賛の方法について

都民交響楽団大島演奏会へのご協賛をいただく場合は、次葉に記載の2つの方法のいずれかで、ご協賛の寄付金をお払い込みください。

お払込みにあたっては、別紙「都民交響楽団大島演奏会 協賛申込書」に、お名前（企業名・個人名）、ご協賛の寄付金額等をご記入のうえ、2026年5月1日（金）までにE-mailかFAXにて、下記申込み先にお申し込み願います。

ご協賛いただいた場合は、当演奏会のチラシ・プログラム等に、協賛団体(者)名を掲載させていただきます（ご希望により、掲載辞退も可能です）。

船舶の欠航などやむをえない事情により、本件演奏会が開催不可能となりました場合には、ご協賛はご辞退申し上げ、お払込み済みの協賛金をご返却します。

なお、当楽団の島嶼演奏会企画は、公益社団法人 企業メセナ協議会から、芸術・文化の普及向上に資する活動として、本件演奏会を含めこれまで15回連続（うち1回は台風のため中止）で認定されており、同協議会を通じて寄付金を払い込む場合は、芸術・文化活動等への民間寄付を促進するとの趣旨で、税制上の特典が設けられています（次葉参照）。

協賛申込書の送付先・ご協賛に関するお問い合わせ先

・都民交響楽団 島嶼演奏会担当

石畑綜一(正)

室 孝明(副) TEL 090-2180-6754

TEL 080-6704-7801

FAX 03-6331-2577

E-mail soichil228@gmail.com

E-mail hab00464@nifty.com

ご協賛方法Ⅰ：当団に直接お払込みの場合

1. ご協賛の寄付金額
 - ・ 1口1万円で1口以上から、とさせていただきます。
2. ご寄付金のお払込みについて
 - ・ 寄付金につきましては、別途当団からお送り申し上げますのご案内に従って、お振込みをお願い申し上げます。
3. 領収証の発行
 - ・ 寄付金のお払込みをいただいた後、当団より領収証をお送り申し上げます。

ご協賛方法Ⅱ：公益社団法人企業メセナ協議会経由お払込みの場合

1. この方法によるご協賛の趣旨と特徴

(1) 税制上の特典

- ・ (公社) 企業メセナ協議会は、法令で定められた「特定公益増進法人」であり、同協議会を通じた寄付金は税制優遇されます。法人からの場合は、一般の寄付金とは別枠で寄付金額を損金算入することができます。また個人の場合は確定申告を行うことにより、寄付金額（一部減額後）の所得控除を受けるか、あるいはその4割について所得税の税額控除を受けることを選択できます。なおいずれも、所得額や資本金（法人の場合）に応じた上限があります。

(2) この方法による場合、同協議会インターネットサイト「かるふぁん！」の簡単な操作をしていただく必要があります。

2. 寄付金額
 - ・ 1口1,000円で10口以上から、とさせていただきます。
3. 寄付金のお払込みについて
 - ・ 寄付金につきましては、(公社) 企業メセナ協議会からE-mailでお送り申し上げますのご案内に従って、お振込みをお願い申し上げます。
 - ・ 請求書は、同協議会が「かるふぁん！」にご用意します。
4. 領収証の発行
 - ・ 寄付金のお払込み後、同協議会発行の領収証が「かるふぁん！」にご用意されます。
 - ・ 領収証と併せ、同協議会が特定公益増進法人であることの証明書が提供されますので、税務申告の際、申告書類に添えてご提出ください。

